

「伊丹市ゼロカーボンシティ宣言」を行うことについて

別記のとおり「伊丹市ゼロカーボンシティ宣言」を行う。

令和 5 年 2 月 20 日提出

伊丹市長 藤 原 保 幸

理 由

2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取組が推進されている中、本市においても、市全体で地球温暖化対策の問題意識を共有するとともに、その対策に取り組む必要があるため。

伊丹市ゼロカーボンシティ宣言

近年、気候変動による異常気象が世界各地で発生し、人間社会や自然環境に深刻な影響を与えています。気候変動問題は、国際社会が一体となって直ちにに取り組むべき重要な課題です。

2015年に採択されたパリ協定は、世界全体の平均気温の上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力を追求することを世界共通の目標に掲げました。これを実現するためには、2050年頃の二酸化炭素排出量を実質ゼロにしなければなりません。

伊丹市は、大都市圏にあって自然と身近に触れ合える生活環境の豊かさ、そして歴史と文化の薫りあふれる街並みなど、多くの魅力を兼ね備えています。こうした、先人が守り築き上げてきたものを未来へ繋ぐためには、伊丹市全体で気候変動に対する問題意識を共有し、対策に取り組むことが重要です。一方で、都市型の地域特性を持つ本市にとって、二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることは、大きな挑戦となります。

ここに伊丹市ゼロカーボンシティを宣言し、二酸化炭素排出削減のために、市自らが最大限取り組むとともに、市民や事業者と一体となって、2050年カーボンニュートラルの実現を目指します。

令和5年3月24日

伊 丹 市